

1. 調査概要

(1) 調査対象期間: 2011年1月1日～12月31日

(2) 調査対象施設: 2011年1月1日～12月31日に輸血用血液製剤の供給があった医療機関176施設

(3) アンケート回収率: 58.5% (103施設 / 176施設)

2. 調査結果

I. 貴施設について

1. 貴施設の病床数(一般病床のみ)をお答え下さい。

病床数	施設数	比率
500床～	4	3.9%
400～499床	4	3.9%
300～399床	7	6.8%
200～299床	6	5.8%
100～199床	23	22.3%
20～99床	29	28.2%
1～19床	18	17.5%
0床	12	11.7%
合計	103	

2. 対象期間中の血液製剤の使用量をお答え下さい。

・赤血球製剤
(単位)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	2,745.0	9,458.0	6,066.3	24,265.0
400～499床	4	44.0	3,560.0	2,107.5	8,430.0
300～399床	7	48.0	7,646.0	3,283.6	22,985.0
200～299床	6	571.0	2,180.0	1,545.0	9,270.0
100～199床	23	17.0	2,056.0	679.5	15,629.0
20～99床	27	3.0	2,271.0	360.5	9,734.0
1～19床	16	3.0	786.0	95.4	1,526.0
0床	12	4.0	64.0	23.9	287.0
全体	99	3.0	9,458.0	930.6	92,126.0

(単位 / 病床)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	5.468	16.651	10.294	41.176
400～499床	4	0.107	8.000	4.959	19.834
300～399床	7	0.131	24.665	9.671	67.695
200～299床	6	2.693	8.668	6.187	37.125
100～199床	23	0.121	17.133	4.729	108.757
20～99床	27	0.031	27.036	5.696	153.779
1～19床	16	0.158	41.368	5.838	93.415
全体	87	0.031	41.368	5.997	521.781

・血漿製剤
(単位)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	532.0	6,271.0	3,426.1	13,704.3
400～499床	4	0.0	1,696.5	683.8	2,735.3
300～399床	7	0.0	2,185.3	650.9	4,556.0
200～299床	6	18.0	917.0	428.0	2,568.0
100～199床	23	0.0	1,571.0	180.4	4,149.0
20～99床	29	0.0	1,385.0	125.4	3,636.0
1～19床	18	0.0	1,152.3	65.5	1,179.3
0床	12	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	103	0.0	6,271.0	315.8	32,527.8

(単位／病床)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	1.060	9.469	5.604	22.416
400～499床	4	0.000	3.812	1.573	6.292
300～399床	7	0.000	7.049	1.972	13.807
200～299床	6	0.085	4.168	1.746	10.479
100～199床	23	0.000	13.092	1.350	31.061
20～99床	29	0.000	21.813	1.883	54.619
1～19床	18	0.000	60.645	3.451	62.115
全体	91	0.000	60.645	2.206	200.790

・血小板製剤
(単位)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	1,240.0	24,470.0	8,708.8	34,835.0
400～499床	4	0.0	8,330.0	2,935.0	11,740.0
300～399床	7	0.0	37,415.0	9,573.6	67,015.0
200～299床	6	80.0	3,715.0	1,397.5	8,385.0
100～199床	23	0.0	5,665.0	626.2	14,403.0
20～99床	29	0.0	2,870.0	178.6	5,180.0
1～19床	18	0.0	1,660.0	97.5	1,755.0
0床	12	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	103	0.0	37,415.0	1,391.4	143,313.0

(単位／病床)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	2.470	34.957	13.461	53.846
400～499床	4	0.000	20.825	7.167	28.670
300～399床	7	0.000	120.694	29.228	204.594
200～299床	6	0.377	13.759	5.511	33.066
100～199床	23	0.000	38.801	4.331	99.616
20～99床	29	0.000	34.167	2.400	69.603
1～19床	18	0.000	87.368	5.180	93.238
全体	91	0.000	120.694	6.403	582.633

・アルブミン製剤
(g)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	19,425.0	63,277.9	36,409.5	145,637.9
400～499床	3	170.0	38,587.8	22,619.3	67,857.8
300～399床	6	0.0	45,762.5	12,175.1	73,050.5
200～299床	6	974.9	9,150.0	5,024.7	30,147.9
100～199床	22	0.0	11,612.5	3,522.0	77,484.1
20～99床	29	0.0	11,687.0	2,643.0	76,645.6
1～19床	18	0.0	1,175.0	111.7	2,010.0
0床	12	0.0	75.0	6.3	75.0
全体	100	0.0	63,277.9	4,729.1	472,908.8

(g／病床)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	38.399	90.397	60.785	243.138
400～499床	3	0.414	86.714	52.138	156.413
300～399床	6	0.000	147.621	37.625	225.751
200～299床	6	4.599	35.328	19.954	119.724
100～199床	22	0.000	96.771	24.742	544.322
20～99床	29	0.000	145.755	44.642	1,294.606
1～19床	18	0.000	61.842	6.693	120.465
全体	88	0.000	147.621	30.732	2,704.420

II. 輸血の管理体制の在り方について

1. 輸血用血液製剤に係る輸血業務(血液製剤入在庫、輸血検査、台帳管理等)は一元管理していますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ	「はい」の比率
500床～	4	4	0	100.0%
400～499床	4	3	1	75.0%
300～399床	7	6	1	85.7%
200～299床	6	6	0	100.0%
100～199床	23	21	2	91.3%
20～99床	29	19	10	65.5%
1～19床	18	16	2	88.9%
0床	11	7	4	63.6%
全体	102	82	20	80.4%

2. アルブミン製剤の管理は、どの部門で行われていますか。

	有効回答施設数	輸血・検査部門	薬剤部門	病棟	手術室	その他	使用していない	「輸血・検査部門」の比率
500床～	4	1	2	0	0	1	0	25.0%
400～499床	4	1	3	0	0	0	0	25.0%
300～399床	7	2	5	0	0	0	0	28.6%
200～299床	6	2	3	0	0	1	0	33.3%
100～199床	23	3	20	0	0	0	0	13.0%
20～99床	29	1	28	0	0	0	0	3.4%
1～19床	18	1	5	3	0	4	5	5.6%
0床	11	1	4	0	0	2	4	9.1%
全体	102	12	70	3	0	8	9	11.8%

「その他」の回答

- ・実務的管理は薬剤部門、適正使用等の管理は輸血・検査部門:2施設
- ・看護部:2施設
- ・透析室:1施設
- ・院長:1施設

3. 輸血責任医師(病院内における輸血業務の全般について、実務上の監督及び責任を持つ医師)は任命されていますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ	任命予定	「はい」の比率
500床～	4	4	0	0	100.0%
400～499床	4	4	0	0	100.0%
300～399床	7	6	1	0	85.7%
200～299床	6	5	1	0	83.3%
100～199床	23	21	2	0	91.3%
20～99床	29	19	10	0	65.5%
1～19床	18	11	6	1	61.1%
0床	12	9	2	1	75.0%
全体	103	79	22	2	76.7%

輸血責任医師の所属診療科

診療科	内科	外科	血液内科	麻酔科	泌尿器科	整形外科	院長	心臓血管外科	産婦人科
回答数	20	19	5	4	4	4	4	3	2

その他の回答として、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液腫瘍科、総合診療科、脳外科、小児科、皮膚科、精神科、臨床検査科、病理診断科が各1施設ずつ

輸血責任医師は、専任か兼任か。

	有効回答施設数	専任	兼任	「専任」の比率
500床～	3	1	2	33.3%
400～499床	4	1	3	25.0%
300～399床	5	1	4	20.0%
200～299床	3	0	3	0.0%
100～199床	21	1	20	4.8%
20～99床	18	1	17	5.6%
1～19床	9	1	8	11.1%
0床	7	0	7	0.0%
全体	70	6	64	8.6%

4. 日本輸血・細胞治療学会認定医はいますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ	取得予定
500床～	4	1	2	1
400～499床	4	1	3	0
300～399床	7	1	6	0
200～299床	6	0	6	0
100～199床	23	1	22	0
20～99床	29	1	28	0
1～19床	18	0	18	0
0床	12	0	12	0
全体	103	5	97	1

「はい」の比率
25.0%
25.0%
14.3%
0.0%
4.3%
3.4%
0.0%
0.0%
4.9%

5. 輸血担当技師(輸血検査や製剤管理等、輸血業務全般の担当者)は配置されていますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ	任命予定
500床～	4	4	0	0
400～499床	4	4	0	0
300～399床	7	6	1	0
200～299床	6	6	0	0
100～199床	23	23	0	0
20～99床	29	23	6	0
1～19床	18	6	12	0
0床	12	5	7	0
全体	103	77	26	0

「はい」の比率
100.0%
100.0%
85.7%
100.0%
100.0%
79.3%
33.3%
41.7%
74.8%

「はい」の場合、専任か兼任か。

	有効回答施設数	専任	兼任
500床～	4	3	1
400～499床	4	2	2
300～399床	6	5	1
200～299床	6	4	2
100～199床	23	6	17
20～99床	23	1	22
1～19床	6	0	6
0床	5	0	5
全体	77	21	56

「専任」の比率
75.0%
50.0%
83.3%
66.7%
26.1%
4.3%
0.0%
0.0%
27.3%

6. 輸血検査は検査技師により24時間体制で実施していますか。

	有効回答施設数	24時間当直体制	一部オンコール体制	未実施	実施予定	「24時間当直体制」の比率
500床～	4	4	0	0	0	100.0%
400～499床	4	2	2	0	0	50.0%
300～399床	7	3	3	1	0	42.9%
200～299床	6	2	4	0	0	33.3%
100～199床	23	3	18	2	0	13.0%
20～99床	29	1	22	6	0	3.4%
1～19床	18	0	6	11	1	0.0%
0床	12	0	2	10	0	0.0%
全体	103	15	57	30	1	14.6%

7. 日本輸血・細胞治療学会の認定輸血検査技師はいますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ	取得予定	「はい」の比率
500床～	4	3	0	1	75.0%
400～499床	4	2	2	0	50.0%
300～399床	7	6	1	0	85.7%
200～299床	6	2	4	0	33.3%
100～199床	23	2	21	0	8.7%
20～99床	29	0	28	1	0.0%
1～19床	18	0	18	0	0.0%
0床	12	0	12	0	0.0%
全体	103	15	86	2	14.6%

8. 輸血療法委員会等(輸血療法委員会又はそれに代わる委員会等)が設置されていますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ	設置予定	「はい」の比率
500床～	4	4	0	0	100.0%
400～499床	4	4	0	0	100.0%
300～399床	7	7	0	0	100.0%
200～299床	6	6	0	0	100.0%
100～199床	23	22	1	0	95.7%
20～99床	29	29	0	0	100.0%
1～19床	18	2	13	3	11.1%
0床	12	4	7	1	33.3%
全体	103	78	21	4	75.7%

9. 輸血療法委員会等が設置されている場合、委員会を定期的を開催していますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ	「はい」の比率
500床～	4	4	0	100.0%
400～499床	4	4	0	100.0%
300～399床	7	6	1	85.7%
200～299床	6	6	0	100.0%
100～199床	22	22	0	100.0%
20～99床	29	28	1	96.6%
1～19床	2	2	0	100.0%
0床	4	4	0	100.0%
全体	78	76	2	97.4%

「はい」の場合の年間開催頻度

	有効回答施設数	1回	2回	3回	4回	6回	7回	11回	12回
500床～	4	0	0	0	0	2	1	1	0
400～499床	4	1	0	0	0	3	0	0	0
300～399床	6	0	0	0	0	5	0	0	1
200～299床	6	0	0	0	0	6	0	0	0
100～199床	22	0	0	1	1	15	0	2	3
20～99床	28	6	3	1	2	7	0	0	9
1～19床	2	0	1	0	0	0	0	0	1
0床	4	0	1	2	0	1	0	0	0
全体	76	7	5	4	3	39	1	3	14

6回以上の比率
100.0%
75.0%
100.0%
100.0%
90.9%
57.1%
50.0%
25.0%
75.0%

10. 輸血療法委員会等はどのような職種で構成されていますか。あてはまるものすべてを選択してください。

	有効回答施設数	医師	検査技師	看護師	薬剤師	事務	その他
500床～	4	4	4	4	4	4	0
400～499床	4	4	4	4	4	4	0
300～399床	7	7	7	7	7	7	1
200～299床	6	6	6	6	6	6	1
100～199床	22	22	22	22	21	15	2
20～99床	29	28	28	28	28	21	4
1～19床	2	2	2	2	1	2	0
0床	4	4	3	4	4	4	1
全体	78	77	76	77	75	63	9

「その他」の回答(複数回答あり)

- ・臨床工学技士:3施設
- ・放射線技師:3施設
- ・栄養士:3施設
- ・診療情報管理士:1施設
- ・ジェネラルリスクマネージャー:1施設

11. 輸血療法委員会等で実施している事項について

(1) 血液製剤適正使用に関する院内マニュアルを定めていますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ	「はい」の比率
500床～	4	4	0	100.0%
400～499床	4	4	0	100.0%
300～399床	7	7	0	100.0%
200～299床	6	4	2	66.7%
100～199床	22	21	1	95.5%
20～99床	29	25	4	86.2%
1～19床	2	2	0	100.0%
0床	4	4	0	100.0%
全体	78	71	7	91.0%

(2) 「輸血療法の実施に関する指針」に定められている次の事項について、定期的に検証を行っていますか。

(「はい」の回答数)

有効回答施設数	①輸血療法の適応	②血液製剤(アルブミン製剤を含む)の選択	③輸血用血液の検査項目・検査術式の選択と精度管理	④輸血実施時の手続き	⑤血液の使用状況調査	⑥症例検討を含む適正使用推進の方法	⑦輸血療法に伴う事故・副作用・合併症の把握方法と対策	⑧輸血関連情報の伝達方法	⑨院内採血の基準や自己血輸血の実施方法
500床～	4	4	4	4	4	4	4	4	4
400～499床	4	3	3	2	2	4	2	4	2
300～399床	7	4	3	5	5	6	7	5	4
200～299床	6	4	4	4	5	6	3	6	5
100～199床	22	18	17	17	20	22	10	21	19
20～99床	29	17	17	15	21	25	12	20	21
1～19床	2	2	0	1	2	2	2	1	1
0床	4	3	2	3	3	4	1	2	0
全体	78	55	50	51	62	73	40	65	58

(3) 輸血療法委員会等で検証した事項について、議事録を作成・保管し、院内に周知していますか。

有効回答施設数	はい	いいえ	議事録作成・保管のみ	「はい」の比率
500床～	4	3	0	75.0%
400～499床	4	4	0	100.0%
300～399床	7	7	0	100.0%
200～299床	6	6	0	100.0%
100～199床	22	21	0	95.5%
20～99床	29	21	2	72.4%
1～19床	2	2	0	100.0%
0床	4	1	0	25.0%
全体	78	65	2	83.3%

12. 輸血管理料を取得していますか。

	有効回答施設数	管理料Ⅰ		管理料Ⅱ		いいえ	取得予定
		加算あり	加算なし	加算あり	加算なし		
500床～	4	2	0	0	2	0	0
400～499床	4	1	1	0	0	1	1
300～399床	7	1	0	4	1	1	0
200～299床	6	2	0	2	1	0	1
100～199床	23	1	1	7	6	7	1
20～99床	29	0	0	1	1	26	1
1～19床	18	0	0	0	0	18	0
0床	12	0	0	0	0	11	1
全体	103	7	2	14	11	64	5

比 率			
管理料Ⅰ		管理料Ⅱ	
加算あり	加算なし	加算あり	加算なし
50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
14.3%	0.0%	57.1%	14.3%
33.3%	0.0%	33.3%	16.7%
4.3%	4.3%	30.4%	26.1%
0.0%	0.0%	3.4%	3.4%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6.8%	1.9%	13.6%	10.7%

【適正加算無の理由】

- ・ FFP/RCCが基準を満たさない:4施設
- ・ ALB/RCCが基準を満たさない:4施設
- ・ 血液製剤の比率が基準を満たさない:1施設

【管理料未取得の理由】

- ・ 輸血責任医師が不在:5施設
- ・ 輸血担当技師が不在:4施設
- ・ 輸血用血液製剤の一元管理ができていない:1施設
- ・ アルブミン製剤の一元管理ができていない:1施設
- ・ 検査を外部に委託している:1施設
- ・ 輸血の件数が少ない:2施設
- ・ 非保険診療施設のため:1施設

Ⅲ. 自己血の実施状況

1. 対象期間内に自己血の採血もしくは輸血を行いましたか。

	有効回答施設数	はい	いいえ	「はい」の比率
500床～	4	4	0	100.0%
400～499床	4	2	2	50.0%
300～399床	7	6	1	85.7%
200～299床	6	6	0	100.0%
100～199床	23	10	13	43.5%
20～99床	29	5	24	17.2%
1～19床	18	2	16	11.1%
0床	12	0	12	0.0%
全体	103	35	68	34.0%

「はい」の場合、自己血の種類は(複数回答可)

	有効回答施設数	貯血式	希釈式	回収式
500床～	4	4	1	2
400～499床	2	2	0	0
300～399床	6	6	0	1
200～299床	6	6	1	1
100～199床	10	10	1	2
20～99床	5	5	0	0
1～19床	2	2	1	1
0床	0	0	0	0
全体	35	35	4	7

2. 看護師の資格についてお答え下さい。(複数回答可)

	有効回答施設数	院内に学会認定・自己血輸血看護師が勤務している	院内に学会認定・臨床輸血看護師が勤務している	どちらも勤務していない
500床～	4	3	3	1
400～499床	4	0	0	4
300～399床	7	1	3	4
200～299床	6	0	0	6
100～199床	23	0	0	23
20～99床	29	0	0	29
1～19床	18	0	0	18
0床	12	0	0	12
全体	103	4	6	97

3. Ⅲ-2の質問にて2つの認定制度を取得している看護師が勤務していない施設はお答え下さい。

	有効回答施設数	近いうちにそれらの資格を取得するつもりである	今後の状況によっては取得するべきである	制度を知らなかったため調べてみる	あまり関心はない
500床～	1	1	0	0	0
400～499床	4	0	3	0	1
300～399床	4	0	2	1	1
200～299床	6	1	4	0	1
100～199床	23	1	14	4	4
20～99床	29	0	15	6	8
1～19床	18	0	8	3	7
0床	12	0	1	5	6
全体	97	3	47	19	28

IV. 自己血採血について

1. 自己血の実績についてお答え下さい。

・自己血採血
(人数)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	3	56	421	234.3	703
400～499床	2	67	108	87.5	175
300～399床	5	11	161	79.8	399
200～299床	6	3	128	35.3	212
100～199床	10	1	197	50.5	505
20～99床	4	1	67	18.5	74
1～19床	2	6	43	24.5	49
0床	0	0	0	0.0	0
全体	32	1	421	66.2	2,117

・自己血輸血
(人数)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	3	44	404	178.3	535
400～499床	2	52	95	73.5	147
300～399床	5	11	146	60.4	302
200～299床	6	3	126	33.8	203
100～199床	10	1	215	50.2	502
20～99床	4	1	61	17.0	68
1～19床	1	6	6	0.0	6
0床	0	0	0	0.0	0
全体	31	1	404	56.9	1,763

・自己血廃棄単位数

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	68.5	506.5	226.6	906.5
400～499床	2	32.0	37.0	34.5	69.0
300～399床	6	0.0	126.0	70.7	424.0
200～299床	6	0.0	74.0	21.9	131.5
100～199床	10	0.0	162.0	31.1	311.0
20～99床	5	0.0	14.0	3.2	16.0
1～19床	1	0.0	0.0	0.0	0.0
0床	0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	34	0.0	506.5	54.6	1,858.0

(単位数)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	197.5	1,627.5	797.3	3,189.0
400～499床	2	208.0	228.0	218.0	436.0
300～399床	6	37.0	654.0	260.0	1,560.0
200～299床	6	8.0	419.5	124.6	747.5
100～199床	9	2.0	430.0	132.9	1,196.0
20～99床	5	2.0	280.0	92.6	463.0
1～19床	2	11.0	86.0	48.5	97.0
0床	0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	34	2.0	1,627.5	226.1	7,688.5

(単位数)

	有効回答施設数	最小	最大	平均	合計
500床～	4	129.0	1,121.0	566.5	2,266.0
400～499床	2	138.0	187.0	162.5	325.0
300～399床	6	37.0	558.0	189.5	1,137.0
200～299床	6	8.0	413.5	106.8	640.5
100～199床	10	2.0	848.0	159.7	1,597.0
20～99床	5	2.0	270.0	87.8	439.0
1～19床	1	11.0	11.0	0.0	11.0
0床	0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体	34	2.0	1,121.0	188.7	6,415.5

2. 自己血採血対象患者についてわかる範囲で人数をお答え下さい。

	有効回答施設数	対象患者	最小	最大	平均	合計
500床～	3	悪性腫瘍患者	22	267	111.7	335
		非悪性腫瘍患者	10	153	79.3	238
400～499床	0	悪性腫瘍患者				
		非悪性腫瘍患者				
300～399床	2	悪性腫瘍患者	0	58	29.0	58
		非悪性腫瘍患者	0	11	5.5	11
200～299床	5	悪性腫瘍患者	0	23	4.6	23
		非悪性腫瘍患者	0	128	32.0	160
100～199床	8	悪性腫瘍患者	0	16	2.1	17
		非悪性腫瘍患者	0	111	25.5	204
20～99床	4	悪性腫瘍患者	0	3	1.5	6
		非悪性腫瘍患者	0	61	15.5	62
1～19床	2	悪性腫瘍患者	0	0	0.0	0
		非悪性腫瘍患者	6	43	24.5	49
全体	24	悪性腫瘍患者	0	267	18.3	439
		非悪性腫瘍患者	0	153	30.2	724

3. 自己血採血を実施した診療科についてお答え下さい。(複数回答可)

	有効回答施設数	内科	心臓血管外科	消化器外科	その他の外科	産科・婦人科	小児科	泌尿器科	整形(形成)	耳鼻科	皮膚科	その他
500床～	4	1	1	3	2	4	1	4	4	1	0	0
400～499床	2	0	0	1	1	2	0	2	1	0	0	0
300～399床	6	1	1	1	2	2	0	4	4	0	0	0
200～299床	6	0	2	0	1	1	0	2	5	0	0	0
100～199床	10	0	0	0	1	1	1	2	6	0	0	0
20～99床	5	0	1	2	1	0	0	0	2	0	0	0
1～19床	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
全体	35	2	6	7	8	10	2	14	23	1	0	0

4. 自己血採血業務にたずさわる看護師についてお答え下さい。

	有効回答施設数	自己血専任の看護師	その他の業務と兼務の看護師	看護師はたずさわらない	その他
500床～	4	0	4	0	0
400～499床	2	0	2	0	0
300～399床	6	0	6	0	0
200～299床	6	0	6	0	0
100～199床	10	0	10	0	0
20～99床	5	0	5	0	0
1～19床	2	0	1	1	0
全体	35	0	34	1	0

5. 自己血採血の静脈穿刺は主にどなたが行っていますか。

	有効回答施設数	主治医	特定の医師	自己血専任の看護師	その他の業務と兼務の看護師	その他
500床～	4	2	0	0	2	0
400～499床	2	1	0	0	1	0
300～399床	6	5	0	0	1	0
200～299床	6	4	1	0	1	0
100～199床	10	5	1	0	4	0
20～99床	5	1	0	0	4	0
1～19床	2	1	0	0	1	0
全体	35	19	2	0	14	0

6. 自己血の採取場所は主にどこですか。

	有効回答施設数	自己血専用の採血スペース	病棟	外来	その他
500床～	4	3	0	1	0
400～499床	2	0	1	1	0
300～399床	6	0	1	4	1
200～299床	6	0	2	3	1
100～199床	10	2	2	6	0
20～99床	5	0	3	1	1
1～19床	2	0	1	1	0
全体	35	5	10	17	3

「その他」の回答

- ・ 中央処置(採血)室:1施設
- ・ 病棟と外来(同程度):1施設
- ・ 点滴室:1施設

7. 自己血採血にともない、有害事象はありましたか。(複数回答可)

	有効回答施設数	血管迷走神経反射(VVR)	穿刺部位の広範囲な内出血	神経損傷	その他	なし	不明or把握していない
500床～	4	3	0	0	0	0	1
400～499床	2	0	1	0	0	1	0
300～399床	6	3	1	0	0	3	0
200～299床	6	1	0	0	0	3	2
100～199床	10	3	0	0	0	7	0
20～99床	5	0	0	0	0	5	0
1～19床	2	0	0	0	0	2	0
全体	35	10	2	0	0	21	3

8. 採血時のトラブル対応のマニュアルはありますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ
500床～	4	4	0
400～499床	2	1	1
300～399床	6	4	2
200～299床	6	1	5
100～199床	10	7	3
20～99床	5	0	5
1～19床	2	0	2
全体	35	17	18

【マニュアルの具体的な内容】

- ・VVRの対応マニュアル:6施設
- ・患者の状態確認に関するマニュアル:2施設

9. 自己血採血の基準を設けていますか？

(「はい」の回答数)

	有効回答施設数	体重	年齢	Hb値	1回の採血量の上限
500床～	4	2	1	4	4
400～499床	2	0	0	1	1
300～399床	6	1	1	6	6
200～299床	6	1	1	4	4
100～199床	10	4	3	7	8
20～99床	5	1	1	3	3
1～19床	2	1	1	2	2
全体	35	10	8	27	28

【体重の基準】

- ・ 30kg以上:1施設
- ・ 40kg以上:4施設
- ・ 40kg未満は200mL:1施設
- ・ 50kg以下は400mL×体重/50:1施設

【Hb値の基準】

- ・ 10.0g/dL以上:1施設
- ・ 11.0g/dL以上:17施設
(ただし、妊婦は10.0g/dL以上:1施設)
(ただし、11.0以上14.0g/dL未満は200mL:1施設)
- ・ 11.5g/dL以上:1施設
- ・ 12.0g/dL以上:1施設

【年齢の基準】

- ・ 15～70歳まで:1施設
- ・ 70歳まで:2施設
- ・ 75歳まで:1施設
- ・ 80歳まで:2施設

【1回の採血量の上限】

- ・ 400mL:25施設

10. 自己血採血のマニュアルはありますか。

	有効回答施設数	はい	いいえ
500床～	4	4	0
400～499床	2	2	0
300～399床	6	6	0
200～299床	6	6	0
100～199床	10	10	0
20～99床	5	5	0
1～19床	2	0	2
全体	35	33	2

11. 自己血採血にともない、鉄剤の投与をしますか。

	有効回答施設数	基本的に投与している	患者によっては投与している	投与しない	その他
500床～	4	3	1	0	0
400～499床	2	0	2	0	0
300～399床	6	1	5	0	0
200～299床	6	1	5	0	0
100～199床	10	3	5	2	0
20～99床	5	1	3	1	0
1～19床	2	0	1	1	0
全体	35	9	22	4	0

鉄剤を投与する場合の薬剤商品名

鉄剤	フェロミア	フェジン	フェルム	フェログラデュメット	フェロチーム	インクレミン
回答数	10	9	4	3	1	1

12. 自己血採血にともない、エリスロポエチン製剤の投与をしますか。

	有効回答施設数	基本的に投与している	患者によっては投与している	投与しない	その他
500床～	4	0	4	0	0
400～499床	2	0	2	0	0
300～399床	6	1	5	0	0
200～299床	6	0	6	0	0
100～199床	10	3	3	4	0
20～99床	5	1	3	1	0
1～19床	2	0	1	1	0
全体	35	5	24	6	0

エリスロポエチン製剤を投与する場合の薬剤商品名

エリスロポエチン製剤	エスポー	エポジン
回答数	13	9

13. 採血後の補液の投与をしますか。

	有効回答施設数	基本的に投与している	患者によっては投与している	投与しない	その他
500床～	4	2	1	1	0
400～499床	2	0	0	2	0
300～399床	6	2	1	1	2
200～299床	6	2	3	0	1
100～199床	9	5	3	1	0
20～99床	5	3	1	1	0
1～19床	2	1	1	0	0
全体	34	15	10	6	3

「その他」の回答

・水分の経口摂取:2施設

補液する場合の薬剤商品名

補液	ラクテック	ソリター	フェジン+5%ブドウ糖	5%ブドウ糖	生理食塩液
回答数	8	2	2	1	1

ラクトリンゲル	ソルラクトD	ポタコール	ヘスパンダー	フィジオ
1	1	1	1	1

ハルトマン液	KN3	ヴィーンF	ヴィーンD
1	1	1	1

14. 自己血採血の際の、消毒方法を教えてください。

消毒方法	アルコールのみ	アルコール+ポビドンヨード	ポビドンヨードのみ	アルコール+グルコン酸クロルヘキシジン	グルコン酸クロルヘキシジンのみ	ポビドンヨード+グルコン酸クロルヘキシジン	ポビドンヨードをハイポにて拭
回答数	1	14	7	1	5	1	5

アルコール+ポビドンヨードの比率
41.20%

※貯血式自己血輸血実施基準(2011)では皮膚消毒の手順として、

- 1) 採血者は穿刺前に手洗いをする。
- 2) 70%イソプロパノールまたは消毒用エタノールを使用し十分にふき取り操作を行う。
- 3) 消毒は原則として10%ポビドンヨードを使用する(ヨード過敏症は0.5%グルコン酸クロルヘキシジンアルコールを使用する)。
- 4) 消毒後はポビドンヨードでは2分以上、ポビドンヨード・アルコールでは30秒以上待った後、穿刺部位が乾燥したのを確認後に穿刺すると記載されています。

15. 主に採用している自己血バッグの構造について教えてください。

	有効回答施設数	針とバッグ		側管		保存前白血球除去	
		一体型	非一体型	あり	なし	している	していない
500床～	3	2	1	2	1	0	3
400～499床	2	2	0	0	2	0	2
300～399床	6	5	1	2	4	0	6
200～299床	6	5	1	2	4	0	6
100～199床	9	7	2	5	4	0	9
20～99床	5	5	0	3	2	0	5
1～19床	2	1	1	1	1	0	2
全体	33	27	6	15	18	0	33

V. 自己血の保管と輸血

1. 採血した自己血の保管・管理は主にどこで行っていますか。

	有効回答施設数	輸血・検査部門	薬剤部門	病棟	外来	その他
500床～	4	4	0	0	0	0
400～499床	2	2	0	0	0	0
300～399床	6	6	0	0	0	0
200～299床	6	6	0	0	0	0
100～199床	10	9	0	1	0	0
20～99床	5	2	0	2	0	1
1～19床	2	0	0	2	0	0
全体	35	29	0	5	0	1

「その他」の回答
・手術室:1施設

2. 自己血の保管はどのような保冷庫で行っていますか。

	有効回答施設数	自己血専用の血液製剤専用保冷庫	同種血と併用の血液製剤専用保冷庫	血液製剤専用保冷庫以外の保冷庫	その他
500床～	4	3	1	0	0
400～499床	2	2	0	0	0
300～399床	6	5	1	0	0
200～299床	6	1	5	0	0
100～199床	10	3	7	0	0
20～99床	5	0	3	2	0
1～19床	2	0	1	1	0
全体	35	14	18	3	0

3. 自己血の保管・管理は主にどの職種が行っていますか。

	有効回答施設数	医師	検査技師	看護師	薬剤師	その他
500床～	4	0	4	0	0	0
400～499床	2	0	2	0	0	0
300～399床	6	0	6	0	0	0
200～299床	6	0	6	0	0	0
100～199床	10	0	9	1	0	0
20～99床	5	0	2	3	0	0
1～19床	2	1	0	1	0	0
全体	35	1	29	5	0	0

4. 自己血の保管にともない、有害事象はありましたか。(複数回答可)

	有効回答施設数	血液凝固のため、返血不能に	不適切な保管温度により使用不可に	血液バッグの破損	その他	なし	不明or把握していない
500床～	4	1	2	0	1	2	0
400～499床	2	1	0	0	0	1	0
300～399床	6	3	0	0	1	3	0
200～299床	6	2	0	0	0	4	0
100～199床	10	3	0	0	1	6	0
20～99床	5	0	0	0	0	5	0
1～19床	2	0	0	0	0	2	0
全体	35	10	2	0	3	23	0

「その他」の回答

- ・ 血中の脂肪成分が多く、フィルターが詰まり返血不能に:1施設
- ・ 凝集のため返血に支障を来たした:1施設
- ・ 過量?:1施設

5. 自己血輸血にともない、有害事象はありましたか。(複数回答可)

	有効回答施設数	発熱	蕁麻疹	発赤	細菌感染	血圧低下	ショック状態	その他	なし	不明or把握していない
500床～	4	0	1	0	0	0	0	0	3	0
400～499床	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
300～399床	6	1	0	0	0	1	0	0	5	0
200～299床	6	1	0	0	0	0	0	0	5	1
100～199床	10	0	0	0	0	0	0	0	9	1
20～99床	5	0	0	0	0	0	0	0	5	0
1～19床	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0
全体	35	2	1	0	0	1	0	0	31	2

6. 自己血輸血にともない、行っている検査は何ですか。(複数回答可)

	有効回答施設数	本人の血液と自己血セグメントとの交差適合試験	セグメントのABO血液型の確認	検査はしない	その他
500床～	4	4	2	0	0
400～499床	2	2	2	0	0
300～399床	6	5	3	0	0
200～299床	6	3	2	2	0
100～199床	9	4	2	4	0
20～99床	5	1	1	3	0
1～19床	2	0	1	1	0
全体	34	19	13	10	0

7. 主に採用している自己血バッグに含まれる保存液の種類と採血した自己血の有効期間を教えてください。

・保存液

	有効回答施設数	CPD液	CPDA液	ACD液	ACDA液	MAP液	その他
500床～	4	0	4	0	0	0	0
400～499床	2	0	2	0	0	0	0
300～399床	6	3	3	0	0	0	0
200～299床	6	2	4	0	0	0	0
100～199床	9	4	5	0	0	0	0
20～99床	5	3	2	0	0	0	0
1～19床	2	0	2	0	0	0	0
全体	34	12	22	0	0	0	0

・有効期間

	有効回答施設数	21日以内	35日以内	42日以内
500床～	4	0	4	0
400～499床	2	0	2	0
300～399床	6	3	3	0
200～299床	6	3	3	0
100～199床	8	3	5	0
20～99床	5	1	4	0
1～19床	2	1	1	0
全体	33	11	22	0

8. 日本自己血輸血学会から、貯血式自己血輸血実施基準(2011)が提示されていることをご存じですか。

	有効回答施設数	知っている	聞いたことがある	知らない
500床～	4	4	0	0
400～499床	2	1	0	1
300～399床	6	5	1	0
200～299床	6	2	2	2
100～199床	10	4	5	1
20～99床	5	2	3	0
1～19床	2	0	1	1
全体	35	18	12	5

9. 他院と、自己血の受け渡しをしましたか。

	有効回答施設数	受け渡しをした経験がある	病院として受け渡しに理解があるが、実際に経験はない	今後も受け渡しをするつもりはない
500床～	4	3	0	1
400～499床	2	0	2	0
300～399床	5	1	0	4
200～299床	6	0	2	4
100～199床	10	0	3	7
20～99床	5	0	0	5
1～19床	2	0	0	2
全体	34	4	7	23

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。